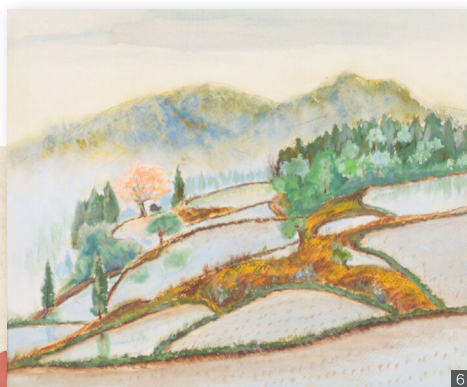




Vol.13
「^し知らな^りを
^み観^いに行こう。」



会期

2024年1月26日金～2月4日日

10:00～17:00 (最終入場16:30) ※休館日なし

会場

アクロス福岡 2階交流ギャラリー

入場無料

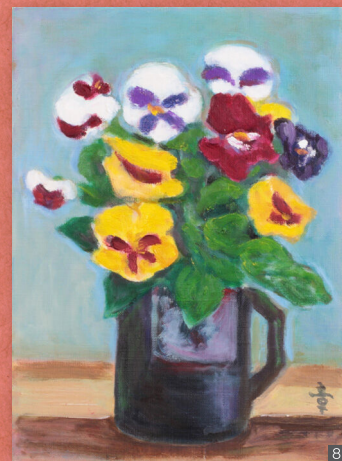
福岡県福岡市中央区天神1-1-1

主催：福岡県 共催：福岡県教育委員会

後援：福岡市、福岡市教育委員会、(公財)福岡県人権啓発情報センター

協力：一般社団法人金陽会、国立療養所菊池恵楓園、国立療養所菊池恵楓園入所者自治会絵画クラブ金陽会 (五十音順)

【問合せ先】 がん感染症疾病対策課 Tel.092-643-3576 人権・同和教育課 Tel.092-643-3918



わが国では、ハンセン病患者を強制的に療養所に収容してきた歴史があります。この隔離政策は、治療薬が開発され、ハンセン病が治る病気となった以降も続けられました。このため、ハンセン病は感染力が弱く、日常生活で感染する可能性はほとんどないにもかかわらず、恐ろしい病気であるとの誤った認識が定着し、今も偏見や差別に苦しんでいる元患者やご家族の方々がいらっしゃいます。

絵画クラブ金陽会は、熊本県にある国立ハンセン病療養所菊池恵楓園の中に設立された、入所者による絵画クラブで、1953年に一人の看護師の呼びかけにより発足しました。療養所での日常を切り取った作品や、離れ離れになった家族や遠いふるさを想って描いた作品など、残されている作品は実に900点を超えます。

過酷な境遇に置かれながらも希望を捨てずに生き抜いてきた金陽会のメンバーが描く絵画は、豊かな感性にあふれた光り輝く作品ばかりです。金陽会の作品に触れ、描かれた背景や込められた思いを想像してください。そして、ハンセン病問題について知り、考えるきっかけとしていただければ幸いです。

主催者



会場にて /

キャラリー トーク

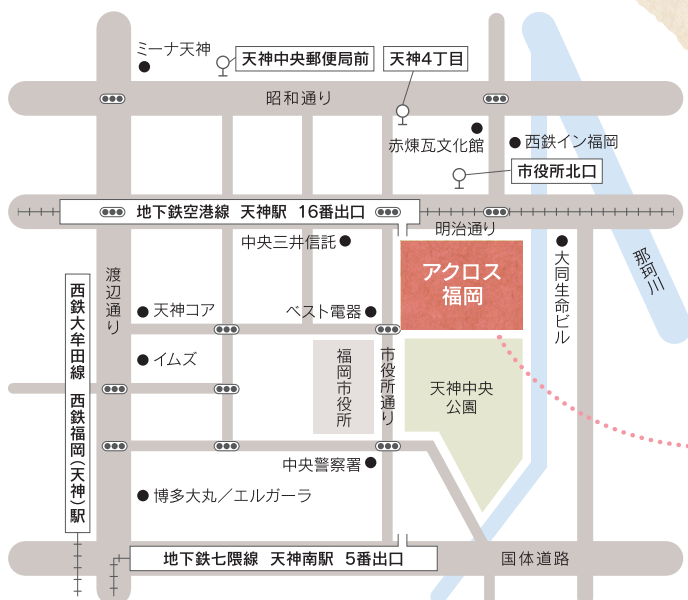
2024年1月27日[土]

14:00～(30分程度)

絵画クラブ金陽会の展覧会を全国各地で開催している蔵座江美(Curator)さんが、作品について語ります。

- 1 《トロンボーンの思い出》 吉山 安彦 1997年 油彩、キャンバス 65.2×80.3cm
- 2 《タイトル不明》 奥井 紀子 制作年不明 水彩、キャンバスボード 40.9×31.8cm
- 3 《根子岳》 森 繁美 2002年 油彩、キャンバス 37.9×45.5cm
- 4 《ゲートボール》 奥井 喜美直 2005年 油彩、キャンバス 45.5×53.0cm
- 5 《遠足》 木下 今朝義 1996年 油彩、キャンバス 45.5×53.0cm
- 6 《棚田》 堀崎 一雄 制作年不明 水彩、鉛筆、紙 37.9×45.5cm
- 7 《奄美の豚》 大山 清長 1996年 油彩、キャンバス 45.5×53.0cm
- 8 《パンジー》 入江 章子 2000年 油彩、キャンバス 33.4×24.3cm
- 9 《次郎岳(天草)》 中原 繁敏 2003年 油彩、キャンバス 90.9×72.7cm
- 10 《春日和》 矢野 悟 1998年 油彩、キャンバス 45.5×53.0cm

*厚生労働省の委託により、社会福祉法人ふれあい福祉協会が実施しています
「ハンセン病対策促進事業」の助成を受けて開催します。



アクロス福岡

〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1-1-1
TEL:092-725-9113 (駐車場:116台)

- 電車をご利用の場合
 - 西鉄福岡(天神)駅から……………徒歩10分
 - 地下鉄空港線天神駅16番出口から……………徒歩5分
 - 地下鉄七隈線天神南駅5番出口から……………徒歩7分
- バスをご利用の場合
 - 市役所北口から……………徒歩0分
 - 天神4丁目から……………徒歩3分
 - 天神中央郵便局前から……………徒歩5分

※地下鉄空港線天神駅16番出口から、アクロス福岡地下2階へ直接入館できます。